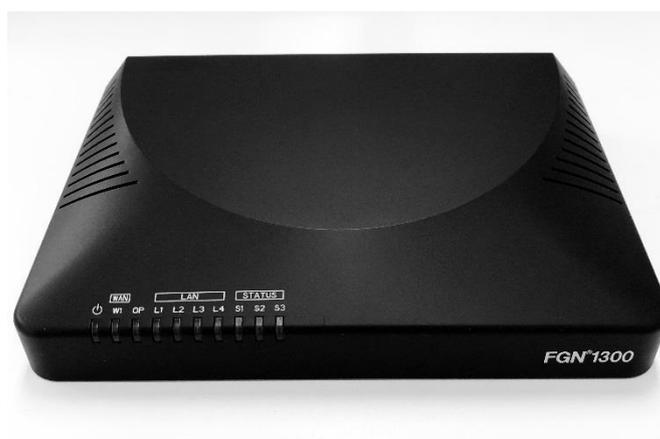


IPv4 over IPv6 対応 有線ブロードバンドルーター

FGN[®] 1300

— 設定説明書 —



目次

1	はじめに	6
1.1	製品の特長	6
1.2	各部の名称と機能	6
2	Web 設定について	8
2.1	Web GUI へのアクセス方法	8
2.1.1	GUIにアクセス出来ない場合の確認事項	9
2.2	各設定ボタン動作について	9
3	状態表示	10
4	ネットワーク設定	13
4.1	LAN 設定	13
4.1.1	DHCP サーバーのクライアント表示	14
4.1.2	固定 IP アドレス付与設定	15
4.2	WAN 設定	16
4.2.1	IPv4 設定 WAN 接続モード DHCP クライアント	17
4.2.2	IPv4 設定 WAN 接続モード PPPoE クライアント	19
4.2.3	IPv4 設定 WAN 接続モード IP アドレス固定	21
4.2.4	IPv6 設定 WAN 接続モード v6 コネクト	23
4.2.5	IPv6 設定 WAN 接続モード 無効	23
4.3	VLAN 設定	24
4.3.1	VLAN IP 詳細設定	25
4.4	有線 LAN ポート設定	26
4.5	IPv4 ファイアウォール設定	27
4.5.1	MAC フィルタリング設定	27
4.5.2	URL フィルタリング設定	28
4.5.3	ルーター宛フィルタリング設定	29
4.5.4	ルーター通過フィルタリング設定	31
4.5.5	ポートマッピング設定	33
5	システム管理	35
5.1	パケット送受信量 統計	35
5.2	システムモニタ	36
5.3	時刻情報設定	37
5.4	DoS 検知・防御設定	38
5.5	ネットワークキューティリティ	39
5.6	システムログ	40
5.7	ファームウェアバージョンアップ	41
5.8	設定保存・読み込み・初期化	42
5.9	ユーザー・パスワード設定	43
6	再起動とログアウト	44

7	付録	45
7.1	設定例 - VLAN 設定(同一ネットワーク帯のケース)	45
7.2	設定例 - VLAN 設定(異なるネットワーク帯のケース)	47
7.3	工場出荷値一覧	49
7.4	制限値一覧	49
7.5	製品仕様	50
7.6	筐体寸法	51
7.7	トラブルシューティング/Q&A 集	52

安全にお使い頂くために

—ご注意—

- 本機の故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外的要因によって、通信の機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失、及び誤った設定を行ったために生じた損害賠償につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- 通信内容の漏洩や改ざん等による精神的損害・純粋経済損失につきまして、当社は一切その責任を負いません。
- 本機は日本国内向け技術基準適合証明のみ取得しておりますので、海外では利用できません。

—お取り扱い上のご注意—

安全に正しくお使い頂き、お客様や財産への損害を防ぐために、以下のマークの記されている項目を必ずお守り下さい。

！警告 取り扱いを誤った場合、人が死亡あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

！注意 取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

！警告

- 極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器、電算機システム、医療システム等）では使用しないで下さい
- 本機の通気孔をふさがないでください。
- 本機を医療機器や心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している人の近くで使用しないで下さい。医療機器の誤動作の原因となります。
- 落雷の恐れがある場合は本機の使用を直ちに中止し、接続されているケーブルを取り外して下さい。落雷により本機及び本機が接続されている機器の故障、発煙、発火の可能性があります。なお、落雷等の天災による故障の場合、保障期間内であっても有償修理となりますので、あらかじめご了承下さい。
- 本機から煙が出たり異臭が発生した場合等、異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。その際は電源を切り、煙が出なくなる、もしくは異臭が消えることを確認した後、当社へご連絡下さい。
- 濡れた手で本機の操作や接続作業を行わないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機を分解・改造しないで下さい。火災、感電、故障の原因となります。また、故障した場合、保証期間内であっても保証を受けられなくなります。
- 本機の近くに花瓶や植木鉢、コップ、化粧品、薬品等の液体が入った容器、小さな金属等を置かないで下さい。これらの異物が本製品の内部に混入した場合、火災、感電、故障の原因となります。また、本機の内部に水や金属等の異物が混入した場合、すぐに本製品の電源を OFF にし、販売元へご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
- 本機は屋内用として開発されております。屋外へ設置したり、屋外で使用することはお止め下さい。雨やほこり等により故障、破損の原因となります。
- 本機を調理台の近く等、油飛びや湯気のあたるような場所、及びごみやほこりの多い場所に設置しないで下さい。

！注意

- 本機を高温多湿な場所、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、熱器具や加湿器等の近くで設置・保管・放置しないで下さい。
- 本機の動作中は本機内部及び外側が熱くなることがあります。本機のそばにビニール等、熱により熔けやすいものを置かないで下さい。
- 本機の通気孔をふさいだり、重ねて設置しないで下さい。
- 本機を温度差の激しいところや、結露するような場所へ設置しないで下さい。故障の原因となります。
- 本機を長期間ご使用にならないときは、電源を OFF にし、本機に接続されている各種ケーブルを外して下さい。
- 本機の RJ45 コネクタに異物を挿入しないで下さい。感電、故障の原因となります。

－電波障害に関する自主規制について－

本機はクラス A 情報技術装置です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

－商標について－

- Microsoft^(R) Windows^(R) 7 Operating System は米国 Microsoft Corporation の米国、及びその他の国における商標です。
- その他、記載の会社名、及び製品名は各社の商標または登録商標です。

－その他－

- 本機の仕様や外観、内部のソフトウェア（ファームウェア）については、改良のため予告無しに変更することがあります。
- 本書の内容については、将来予告無く変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り・記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡下さい。

1 はじめに

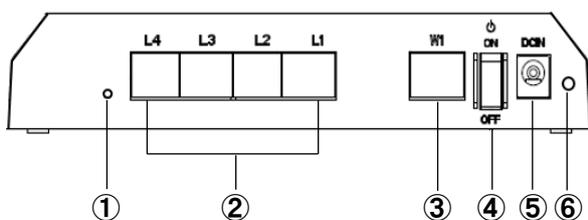
1.1 製品の特長

本機は IPv4 over IPv6 通信に対応した有線 LAN ブロードバンドルーターです。
本機は以下のような特長があります。

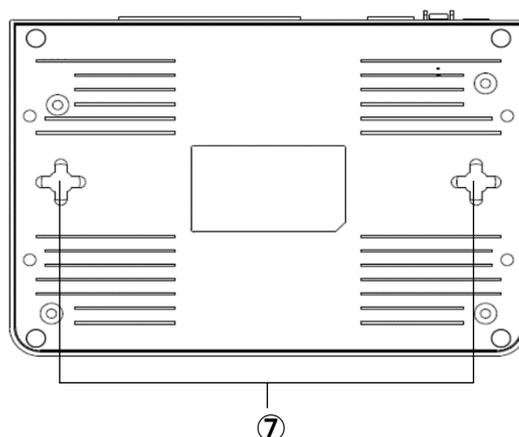
- IPv4 over IPv6 通信に対応（株式会社朝日ネットが提供する v6 コネクトに対応）
- クアッドコア CPU 1.3GHz を搭載したハイスペック仕様
- Power over Ethernet に対応（IEEE 802.3af/at 準拠・WAN ポート受電対応）
- 有線 LAN はギガビットポートを搭載（10/100/1000Mbps・LAN 側 4 ポート/WAN 側 1 ポート）

1.2 各部の名称と機能

本機背面

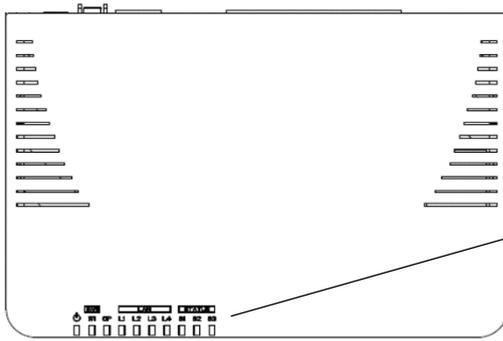


本機底面

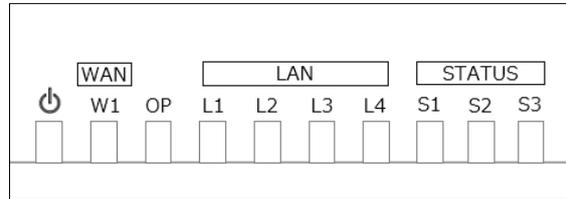


番号	名称	機能
①	リセットスイッチホール	本機の設定を工場出荷値に戻す場合、本機の電源が ON の状態で、細い棒等で本ボタンを 10 秒以上長押しして下さい。ボタンから離れた後に初期化が始まります。電源 LED 以外の LED が一旦消灯します。
②	L1～L4	有線 LAN ポートです。
③	W1	有線 WAN ポートです。
④	電源スイッチ	電源の ON/OFF をします。
⑤	DC IN	電源アダプタを接続する差込口です。
⑥	ケーブルクランプホール	付属の電源ケーブル用クランプを取り付ける穴です。
⑦	壁掛け用ネジ穴	壁掛け用のネジ穴です。ネジはお客様準備になります。

本機上面



LED 表示

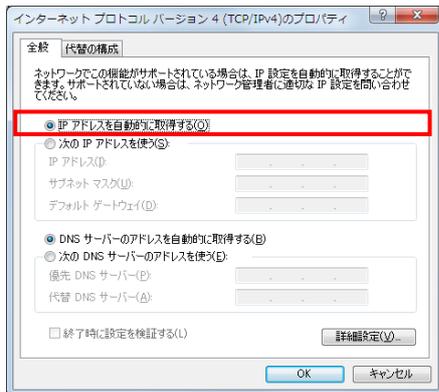


LED	機能	状態	内容
	電源	消灯	本機に電力が供給されていない
		点灯	本機に電力が供給されている
W1	WAN ポート	消灯	WAN ポートのリンクが確立していない
		点灯	WAN ポートのリンクが確立している
		点滅	WAN ポートで通信中
OP	予備 LED	消灯	未使用の LED のため、常に消灯状態
L1~L4	LAN ポート	消灯	LAN ポートのリンクが確立していない
		点灯	LAN ポートのリンクが確立している
		点滅	LAN ポートで通信中
S1	ステータス 1	消灯	WAN ポートで IPv4 アドレスを取得していない
		点灯	WAN ポートで IPv4 アドレスを取得している
S2	ステータス 2	消灯	WAN ポートで IPv6 アドレスを取得していない
		点灯	WAN ポートで IPv6 アドレスを取得している
S3	予備 LED	消灯	未使用の LED のため、常に消灯状態

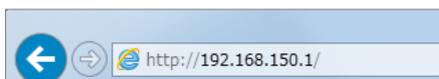
2 Web 設定について

2.1 Web GUI へのアクセス方法

- ① 本機背面の LAN ポート(L1～L4)と PC を LAN ケーブル(RJ-45)で接続して下さい。
- ② 設定する PC の IP アドレスは下記のように自動取得として下さい。



- ③ PC でブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.150.1/」を入力して下さい。



- ④ 下記のようにユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを半角英数字で入力して[OK]ボタンをクリックして下さい。



【初期値】

ユーザー名 : admin

パスワード : admin

- ⑤ 本機の設定画面(トップ画面／状態表示画面)が表示されます。



2.1.1 GUIにアクセス出来ない場合の確認事項

下記を確認して下さい。

- PCと本機背面のLANポートが、RJ-45ケーブルで正しく接続されているか確認して下さい。
- PCと接続しているLANポートのLED(L1~L4)が点灯していることを確認して下さい。
- PCが本機からのDHCPアドレス「192.168.150.30~192.168.150.209の範囲(初期値)」で取得できているか確認して下さい。

2.2 各設定ボタン動作について

設定時に利用するボタンの動作について説明いたします。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	<input type="text" value="有効"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.150.30"/> 終了 <input type="text" value="192.168.150.209"/> <input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="240"/> (15-10080分)
ホスト名	<input type="text" value="FGN1300"/>

802.1d Spanning Tree

ユーザー名・パスワード設定

本機の設定画面にアクセスするためのユーザー名・パスワードを設定します。
ユーザー名とパスワードを空欄に設定すると、ユーザー名・パスワードによる保護が無効となります。

新しいユーザー名	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(再入力)	<input type="password"/>

※クリック直後より、設定内容が反映されます

ボタン名称	内容
〔キャンセル〕	入力・変更した値を変更前の値に戻します。
〔設定保存〕	入力・変更した値を保存します。 実動作へ反映する為には、〔適用〕または〔再起動〕を行う必要があります。
〔適用〕	入力・変更した値を保存した上で、再起動を実施します。 設定変更値は再起動完了後より、実動作へ反映します。
〔設定変更〕	設定内容を保存し、即時に実動作へ反映します。

3 状態表示

本機の動作状態を表示します。

左のメニューリストから「状態表示」を選択します。

The screenshot shows the '状態表示' (Status Display) page in the Fibergate Inc. web interface. The page title is '状態表示' and it includes a '再読み込み' (Refresh) button. The main content is divided into three sections: 'システム情報' (System Information), 'LANポート (グループ0)' (LAN Port (Group 0)), and 'WANポート (IPv4)' (WAN Port (IPv4)).

システム情報	
システム起動時間	57 secs
ファームウェアバージョン	v1.1.10%
ビルド時刻	Wed Aug 1 10:19:17 CST 2018
CPUロードアベレージ	0.69 0.18 0.06 (過去 1分 5分 15分間の負荷平均)
プロセス数	2/80 (現在のプロセス数/総プロセス数)
メモリ使用率	Total:507184 Used:55904 Free:451280 (単位: Kbytes)
NAPTセッション数	117 (最大:31260)

LANポート (グループ0)	
所属インタフェース	LAN1, LAN2, LAN3, LAN4
VLAN ID	
LAN IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	98:2D:BA:50:12:C4

WANポート (IPv4)	
接続モード	DHCPクライアント
IPv4アドレス	114.205.82
サブネットマスク	255.255.255.255
MACアドレス	98:2D:BA:50:12:C5

WANポート (IPv6)	
接続モード	v6 コネクト 接続中
IPv6アドレス - IPoE	2405:e580:3220:5d00:9a2d:baff:fe50:12c5/64
IPv6アドレス - v6 コネクト	2405:e580:3220:5d00:0:0:0:14014::1/128
IPv6 デフォルトゲートウェイ	fe80::207:7dff:fe6d:d3c5
MACアドレス	98:2D:BA:50:12:C5

Copyright(C) 2018 Fibergate Inc.

■ システム情報

システム情報	
システム起動時間	1 hour, 15 mins, 16 secs
ファームウェアバージョン	v1.1.10%
ビルド時刻	Wed Jun 28 10:19:17 CST 2018
CPUロードアベレージ	1.32 1.29 1.20 (過去 1分 5分 15分間の負荷平均)
プロセス数	1/79 (現在のプロセス数/総プロセス数)
メモリ使用率	Total:507188 Used:56428 Free:450760 (単位: Kbytes)
NAPTセッション数	26 (最大:31268)

項目	内容
システム起動時間	本機が起動してからの経過時間を表示します。
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
ビルド時刻	ファームウェアの作成時刻を表示します。
CPU ロードアベレージ	過去1分/5分/15分間のCPU 負荷とI/O 使用率の指標を表示します。
プロセス数	現在、実行されているプロセス数とプロセス総数を表示します。
メモリ使用率	総メモリ容量(Total)、使用中メモリ容量(Used)、空きメモリ容量(Free)を表示します。
NAPT セッション数	現在、使用されている NAPT セッション数(IP アドレス変換処理数)を表示します。

■ LAN ポート

LANポート (グループ0)	
所属インタフェース	LAN1, LAN2, LAN3, LAN4
VLAN ID	
LAN IPアドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	98:2D:BA:50:12:C4

項目	内容
所属インタフェース	各グループに所属している LAN インタフェースを表示します。
VLAN ID	VLAN ID を表示します。
LAN IP アドレス	LAN 側の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	LAN 側のサブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	DHCP サーバーの有効/無効を表示します。
MAC アドレス	LAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

■ WAN ポート(IPv4)

- DHCP クライアントモード時の表示です

WANポート (IPv4)	
接続モード	DHCPクライアント
IPv4アドレス	192.168.10.36
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

- IP アドレス固定モード時の表示です

WANポート (IPv4)	
接続モード	IPアドレス固定設定 接続中
IPv4アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

- PPPoE クライアントモード時の表示です

WANポート (IPv4)	
接続モード	PPPoE 接続中
IPv4アドレス	192.168.10.100
サブネットマスク	255.255.255.255
IPv4 デフォルトゲートウェイ	192.168.10.100
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

項目	内容
接続モード	WAN 側の IPv4 接続モードを表示します。
IPv4 アドレス	WAN 側の IPv4 アドレスを表示します。
サブネットマスク	WAN 側のサブネットマスクを表示します。
IPv4 デフォルトゲートウェイ	WAN 側のデフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

■ WAN ポート(IPv6) v6 コネクトモード時の表示です

WANポート (IPv6)	
接続モード	v6 コネクト 接続中
IPv6アドレス - IPoE	2405:8500:3228:5e00:3a21:caff:fe50::/64
IPv6アドレス - v6 コネクト	2405:8500:3228:5e00:3a21:caff:fe50::/64
IPv6 デフォルトゲートウェイ	2405:8500:3228:5e00:3a21:caff:fe50::1
MACアドレス	98:2D:BA:50:10:FD

項目	内容
接続モード	WAN 側の IPv6 接続モードを表示します。
IPv6 アドレス-IPoE	WAN 側の IPoE で接続している IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 アドレス-v6 コネクト	WAN 側の v6 コネクトで接続している IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 デフォルトゲートウェイ	WAN 側の IPv6 デフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	WAN 側ポートの MAC アドレスを表示します。

4 ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を行います。

4.1 LAN 設定

本機の LAN 設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「LAN 設定」を選択します。

Fibergate Inc. 株式会社ファイバゲート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
 - LAN設定
 - WAN設定
 - VLAN設定
 - 有線LANポート設定
 - IPv4ファイアウォール設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス

サブネットマスク

DHCPサーバー設定

DHCPサーバー

付与IPアドレス範囲 先頭 終了

リース期限 (15-10080分)

ホスト名

802.1d Spanning Tree

項目	内容
IP アドレス	本機の LAN 側の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	本機の LAN 側のサブネットマスクを設定します。

■ DHCP サーバー設定

DHCP サーバー	本機の DHCP サーバーの動作(無効/有効)を選択します。
付与 IP アドレス範囲	前項において「サーバー」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与する IP アドレスの範囲(開始 IP アドレスと終了 IP アドレス)を設定します。
クライアント表示	DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
固定 IP アドレス付与設定	DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
リース期限	付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
ホスト名	付与するホスト名を設定します。

4.1.1 DHCP サーバーのクライアント表示

DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
前項画面の「LAN 設定」内の「クライアント表示」ボタンをクリックします。

LAN設定

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.150.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー	<input type="text" value="有効"/>
付与IPアドレス範囲	先頭 <input type="text" value="192.168.150.30"/> 終了 <input type="text" value="192.168.150.209"/>
	<input type="button" value="クライアント表示"/>
	<input type="button" value="固定IPアドレス付与設定"/>
リース期限	<input type="text" value="240"/> (15-10080 分)
ホスト名	<input type="text" value="FGN1300"/>
802.1d Spanning Tree	<input type="text" value="無効"/>
<input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="設定保存"/> <input type="button" value="適用"/>	



接続中のDHCPクライアント

本機のDHCPサーバーからIPアドレスを取得したDHCPクライアントの情報を表示します。

ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	リース期限残	クライアントOS
PC1329N	54:E1:AD:05:61:3A	192.168.150.30	03h : 59m : 38s	

項目	内容
ホスト名	クライアントに設定されているホスト名を表示します。
MAC アドレス	クライアントの MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	クライアントが DHCP サーバーから取得した IP アドレスを表示します。
リース期間残	DHCP リース期間の残り時間を表示します。
クライアント OS	クライアントの OS が表示されます。 ※1

※1: クライアント側の仕様により OS が表示されない場合があります

4.1.2 固定 IP アドレス付与設定

クライアントの MAC アドレス情報によって、常に同じ IP アドレス(固定 IP アドレス)を付与するための設定を行います。

前項画面の「LAN 設定」内の〔固定 IP アドレス付与設定〕ボタンをクリックします。

項目	内容
DHCP サーバー固定 IP アドレス付与を有効にする	固定 IP アドレス付与を有効にする場合にチェックを入れて下さい。
IP アドレス	付与する IP アドレスを設定します。
MAC アドレス	固定 IP アドレスを付与する対象 MAC アドレスを設定します。
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)

【設定】

IP アドレス、MAC アドレス、コメント入力後、〔リストへ登録〕ボタンをクリックすると、リストへ登録されます。

4.2 WAN 設定

本製品の WAN ポート側に接続する回線・ネットワークを設定します。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「WAN 設定」を選択します。

● IPv4 WAN 設定（DHCP クライアントモード時の表示）

The screenshot shows the 'IPv4 WAN設定' (IPv4 WAN Settings) page. The left sidebar contains a navigation menu with 'IPv4設定' selected. The main content area has the title 'IPv4 WAN設定' and instructions: 'WAN側接続モードの設定を行います。プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。' Below this, the 'WAN接続モード' is set to 'DHCPクライアント'. Other fields include 'ホスト名', 'MTU Size' (1492), 'DNS自動取得' (selected), 'DNS固定設定', 'プライマリーDNS', and 'セカンダリーDNS'. There are several checkboxes for advanced features like UPnP, IGMP Proxy, and various bypasses. At the bottom are buttons for 'キャンセル', '設定保存', and '適用'.

● IPv6 WAN 設定（v6 コネクトモード時の表示）

The screenshot shows the 'IPv6 WAN設定' (IPv6 WAN Settings) page. The left sidebar has 'IPv6設定' selected. The main content area has the title 'IPv6 WAN設定' and instructions: 'WAN側接続モードの設定を行います。プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。' Below this, the 'WAN接続モード' is set to 'v6 コネクト'. Other fields include 'トンネルID', 'センタ側のエンドポイントのIPv6アドレス', 'クライアント側エンドポイントのIPv6アドレス・インタフェースID', 'クライアント側のグローバルIPv4アドレス', 'アドレス変更通知に使用する通知キー', and 'アドレス変更通知に使用する通知パスワード'. At the bottom are buttons for 'キャンセル', '設定保存', and '適用'.

4.2.1 IPv4 設定 WAN 接続モード DHCP クライアント

「WAN 接続モード」で「DHCP クライアント」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。

プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード DHCPクライアント ▼

ホスト名

MTU Size (1400-1500 bytes)

DNS自動取得
 DNS固定設定

プライマリDNS

セカンダリDNS

UPnPを有効にする
 IGMP Proxyを有効にする
 WAN側からのPingに応答を返す
 WAN側から設定画面へのログオンを許可する
 L2TPパススルーを有効にする
 IPsecパススルーを有効にする
 PPTPパススルーを有効にする

項目	内容
WAN 接続モード	「DHCP クライアント」を選択します。
ホスト名	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境において、ホスト名の設定が必要な場合にのみ設定します。
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存 LAN の環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリDNS」「セカンダリDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。
- ※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

4.2.2 IPv4 設定 WAN 接続モード PPPoE クライアント

「WAN 接続モード」で「PPPoE クライアント」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。

プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード PPPoEクライアント ▾

ユーザー名

パスワード

パスワード (再入力)

MTU Size (1360-1492 bytes)

DNS自動取得

DNS固定設定

プライマリDNS

セカンダリDNS

UPnPを有効にする

IGMP Proxyを有効にする

WAN側からのPingに応答を返す

WAN側から設定画面へのログオンを許可する

L2TPパススルーを有効にする

IPsecパススルーを有効にする

PPTPパススルーを有効にする

項目	内容
WAN 接続モード	「PPPoE クライアント」を選択します。
ユーザー名	プロバイダとの契約資料を参照して設定します。
パスワード	
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存LANの環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリDNS」「セカンダリDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

- ※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。
- ※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

4.2.3 IPv4 設定 WAN 接続モード IP アドレス固定

「WAN 接続モード」で「IP アドレス固定」を選択します。

IPv4 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。

プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード
IPアドレス固定 ▼

IPアドレス
192.168.1.1

サブネットマスク
255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ
192.168.1.254

MTU Size
1500
(1400-1500 bytes)

プライマリーDNS

セカンダリーDNS

- UPnPを有効にする
- IGMP Proxyを有効にする
- WAN側からのPingに応答を返す
- WAN側から設定画面へのログオンを許可する
- L2TPパススルーを有効にする
- IPsecパススルーを有効にする
- PPTPパススルーを有効にする

キャンセル
設定保存
適用

項目	内容
WAN 接続モード	「IP アドレス固定」を選択します。
IP アドレス	プロバイダとの契約資料や、既存LANの環境に合わせて設定します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU Size	MTU を設定します。通常、変更する必要はありません。値を変更する場合はプロバイダへ確認して頂くか、既存の LAN 環境に合わせて設定して下さい。
DNS 自動取得／DNS 固定設定	プロバイダとの契約資料や、既存LANの環境に合わせて設定します。「DNS 固定設定」を選択した場合は、「プライマリーDNS」「セカンダリーDNS」を設定します。
UPnP を有効にする	UPnP を有効にする場合にチェックを入れます。
IGMP Proxy を有効にする	IGMP Proxy を有効にする場合にチェックを入れます。
WAN 側からの Ping に応答を返す	WAN(インターネット)側からの Ping に応答を返す場合にチェックを入れます。 ※1
WAN 側から設定画面へのログオンを許可する	WAN 側から設定画面へのログオンを許可する場合にチェックを入れます。 ※1
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
IPsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にする場合にチェックを入れます。 ※2

※1:これらの設定は、本画面ではチェックなし(無効)となっていますが、ルーター宛フィルタリング設定にて、特定IPアドレスのみ許可することができます。

※2:VPN パススルーを有効にしても、ルーター通過フィルタリング設定において関連する通信(IPSec パススルー UDP500 番、PPTP パススルーTCP1723 番、L2TP パススルー UDP1701 番)を遮断するエントリを登録した場合、VPN パススルーは機能しません。(ルーター通過フィルタリング設定が優先されます。)

4.2.4 IPv6 設定 WAN 接続モード v6 コネクト

「WAN 接続モード」で「v6 コネクト」を選択します。

IPv6 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード v6 コネクト ▼

トンネルID

センタ側のエンドポイントのIPv6アドレス

クライアント側エンドポイントのIPv6アドレス・インタフェースID

クライアント側のグローバルIPv4アドレス

アドレス変更通知に使用する通知キー

アドレス変更通知に使用する通知パスワード

項目	内容
WAN 接続モード	「v6 コネクト」を選択します。 ※1
トンネル ID	v6 コネクトサービス提供プロバイダとの契約資料を参照して設定します。
センタ側のエンドポイントの IPv6 アドレス	
クライアント側エンドポイントの IPv6 アドレス・インタフェース ID	
クライアント側のグローバル IPv4 アドレス	
アドレス変換通知に使用する通知キー	
アドレス変換通知に使用する通知パスワード	

※1:IPv6 設定にて v6 コネクトを設定する場合、事前にIPv4 設定にてDHCPクライアント(初期値)を設定しておく必要があります。

4.2.5 IPv6 設定 WAN 接続モード 無効

「WAN 接続モード」で「無効」を選択します。

IPv6 WAN設定

WAN側接続モードの設定を行います。
プロバイダ、回線事業者との契約内容などを確認の上、設定を行って下さい。

WAN接続モード 無効 ▼

項目	内容
WAN 接続モード	「無効」を選択します。 ※1

※1:IPv6 のWANモードを利用しない場合は、必ず「無効」を選択して下さい。

4.3 VLAN 設定

本機の VLAN 設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「VLAN 設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
 - LAN設定
 - WAN設定
 - VLAN設定**
 - 有線LANポート設定
 - IPv4ファイアウォール設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

VLAN設定

VLANの設定を行います。

- 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を許可します。
- 異なるVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を遮断します。
- VLAN IP グループ0は、IPv4, IPv6通信の両方に対応します。
VLAN IP グループ1~3は、IPv4通信のみの対応となります。

VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種別	Tag	Trunk	VLAN ID(2-4094)	VLAN IPグループ
LAN1	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
LAN2	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
LAN3	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼
LAN4	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0 ▼

VLAN IP 設定

グループ	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
グループ0	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.150.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
グループ1	<input type="checkbox"/>	192.168.160.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ2	<input type="checkbox"/>	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ3	<input type="checkbox"/>	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

キャンセル 設定保存 適用

項目	内容
VLAN を有効にする	VLAN を有効にする場合にチェックを入れて下さい。 ※1
VLAN ID・IP グループ設定	
インタフェース	各物理インタフェースを表示しています。
種類	各物理インタフェースの種類を表示しています。
Tag	対象インタフェースの Tag を有効にする場合にチェックを入れて下さい。
Trunk	対象インタフェースの Trunk を有効にする場合にチェックを入れて下さい。 ※2
VLAN ID	対象インタフェースの VLAN ID を設定します。
VLAN IP グループ	対象インタフェースの VLAN IP グループを設定します。 ※3
VLAN IP 設定	
グループ	VLAN IP 設定対象のグループを表示しています。
VLAN IP	対象グループの VLAN IP を有効にする場合にチェックを入れて下さい。
IP アドレス	対象グループの VLAN IP の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	対象グループの VLAN IP のサブネットマスクを表示します。
DHCP サーバー	対象グループの DHCP サーバーの有効/無効状態を表示します。
詳細設定	対象グループの VLAN IP の設定を行う場合に、ボタンをクリックします。

※1: VLAN を有効状態から無効へ変更する場合、VLAN の設定値は初期値に戻りますので注意して下さい。

※2: Trunk を設定したインタフェースは、全ての VLAN ID との通信が許可されたインタフェースとして動作します。

Trunk を設定できるインタフェースは 1 つのみです。

※3: VLAN IP グループ 0 は、IPv4, IPv6 通信の両方に対応しますが、グループ 1~3 は IPv4 通信のみとなります。

4.3.1 VLAN IP 詳細設定

各 VLAN IP グループに対する IP アドレス等の設定を行います。
 VLAN IP グループは、グループ 0～3 まで設定できます。グループ 0 の VLAN IP は常に有効で IP アドレス等の情報は LAN 設定の値を利用します。

前項画面の「VLAN 設定」で VLAN を有効にするにチェックを入れた後、グループ 1 の VLAN IP にチェックを入れ [IP 設定] のボタンをクリックします。

VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種別	Tag	Trunk	VLAN ID(2-4094)	VLAN IPグループ
LAN1	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
LAN2	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
LAN3	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0
LAN4	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	グループ0

VLAN IP 設定

VLAN IP設定	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ0	192.168.160.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ1	192.168.160.1	255.255.255.0	無効	IP設定
<input type="checkbox"/>	グループ2	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
<input type="checkbox"/>	グループ3	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

グループ1IP設定

グループ1のIPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。

グループ1IPアドレス

グループ1サブネットマスク

グループ1DHCPサーバー設定

DHCPサーバー

付与IPアドレス範囲

先頭 終了

リース期限 (15-10080分)

ドメイン名

項目	内容
グループ 1 IP アドレス	グループ 1 の IP アドレスを設定します。
グループ 1 サブネットマスク	グループ 1 のサブネットマスクを設定します。
グループ 1 DHCP サーバー設定	
DHCP サーバー	グループ 1 の DHCP サーバーの動作(無効/有効)を選択します。
付与 IP アドレス範囲	前項において「サーバー」が選択された場合に、DHCP サーバーが付与する IP アドレスの範囲(開始 IP アドレスと終了 IP アドレス)を設定します。
クライアント表示	DHCP サーバーから IP アドレスを取得しているクライアントの情報を表示します。
固定 IP アドレス付与設定	DHCP サーバー 固定 IP アドレス付与設定画面を表示します。
リース期限	付与する IP アドレスのリース期限を設定します。
ホスト名	付与するホスト名を設定します。

4.4 有線 LAN ポート設定

本機の有線 LAN ポートの設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「有線 LAN ポート設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
 - LAN設定
 - WAN設定
 - VLAN設定
 - 有線LANポート設定**
 - IPv4ファイアウォール設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

有線LANポート設定

各有線ポートの動作設定、状態を表示します。

電源をOFFにすることで対象ポートを無効にすることができます。(WANはOFFにすることができません)

有線LANポート	電源	リンク	速度
LAN1	ON ▼	LinkUp	1000M FDX
LAN2	ON ▼	LinkUp	100M FDX
LAN3	ON ▼	LinkDown	-
LAN4	ON ▼	LinkDown	-
WAN	ON ▼	LinkUp	1000M HDX

キャンセル 設定保存 適用

項目	内容
有線 LAN ポート	LAN1～4、WAN ポートを表示しています。
電源	各ポートの電源「ON」「OFF」を選択します。 ※1
リンク	各ポートのリンク状態を表示します。
速度	各ポートの通信レートを表示します。

※1:「OFF」設定のポートは通信を行うことができません。LAN ケーブルを接続しても該当ポートの LED は消灯になります。
WAN ポートは「OFF」設定にすることはできません。

4.5 IPv4 ファイアウォール設定

本機の IPv4 ファイアウォール設定を行います。

4.5.1 MAC フィルタリング設定

LAN 側に接続する特定の端末について MAC アドレスをもとに WAN 側への接続を禁止する設定を行います。左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「MAC フィルタリング設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
 - LAN設定
 - WAN設定
 - VLAN設定
 - 有線LANポート設定
 - IPv4ファイアウォール設定
 - MACフィルタリング設定**
 - URLフィルタリング設定
 - ルーター宛フィルタリング設定
 - ルーター通過フィルタリング設定
 - ポートマッピング設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

MACフィルタリング設定

登録したMACアドレスのWAN（インターネット）側への通信を禁止します。

MACフィルタリングを有効にする

MACアドレス

コメント
(半角英数字記号20文字以内)

MACフィルタリング登録リスト (20エントリーまで登録可能)

No.	MACアドレス	コメント
1 <input type="checkbox"/>	00:00:5e:00:53:00	example0
2 <input type="checkbox"/>	00:00:5e:00:53:01	example1
3 <input type="checkbox"/>	00:00:5e:00:53:02	example2

項目	内容
MAC アドレスフィルタリングを有効にする	MAC フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れて下さい。
MAC アドレス	通信を禁止する MAC アドレスを設定します。
コメント	登録する MAC アドレスに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力した値をクリア(空欄)にします。
[リストへ登録・設定保存]ボタン	リストへ登録し、設定を保存します。 ※1
[リストへ登録・適用]ボタン	リストへ登録し、設定を適用します。 ※2
MAC フィルタリング登録リスト	
[選択したエントリを削除]ボタン	チェックを入れたエントリを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリを削除します。

※1: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※2: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

4.5.2 URL フィルタリング設定

登録した URL、またはキーワードを含む HTTP サイトへの接続を禁止する設定を行います。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「URL フィルタリング設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバークエート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
 - LAN設定
 - WAN設定
 - VLAN設定
 - 有線LANポート設定
- IPv4ファイアウォール設定
 - MACフィルタリング設定
 - URLフィルタリング設定**
 - ルーター宛フィルタリング設定
 - ルーター通過フィルタリング設定
 - ポートマッピング設定
- システム管理
 - 再起動
 - ログアウト

URLフィルタリング設定

登録したURL、またはキーワードを含むHTTPサイトへの接続を拒否します。
本フィルタリングは、HTTPサイトのみに対応しており、HTTPSサイトには対応していません。

URLフィルタリングを有効にする

URL・キーワード
(半角英数字30文字以内)

キャンセル リストへ登録・設定保存 リストへ登録・適用

URLフィルタリング 登録リスト (20エントリーまで登録可能)

No.	URL・キーワード
1 <input type="checkbox"/>	example1.jp
2 <input type="checkbox"/>	example2.jp
3 <input type="checkbox"/>	example3.jp

選択したエントリーを削除 全て削除

項目	内容
URL フィルタリングを有効にする	URL フィルタリングを有効にする場合にチェックを入れて下さい。
URL・キーワード	拒否するキーワードを設定します。 ※1
[キャンセル]ボタン	入力した値をクリア(空欄)にします。
[リストへ登録・設定保存]ボタン	リストへ登録し、設定を保存します。 ※2
[リストへ登録・適用]ボタン	リストへ登録し、設定を適用します。 ※3
URL フィルタリング登録リスト	
[選択したエントリーを削除]ボタン	チェックを入れたエントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

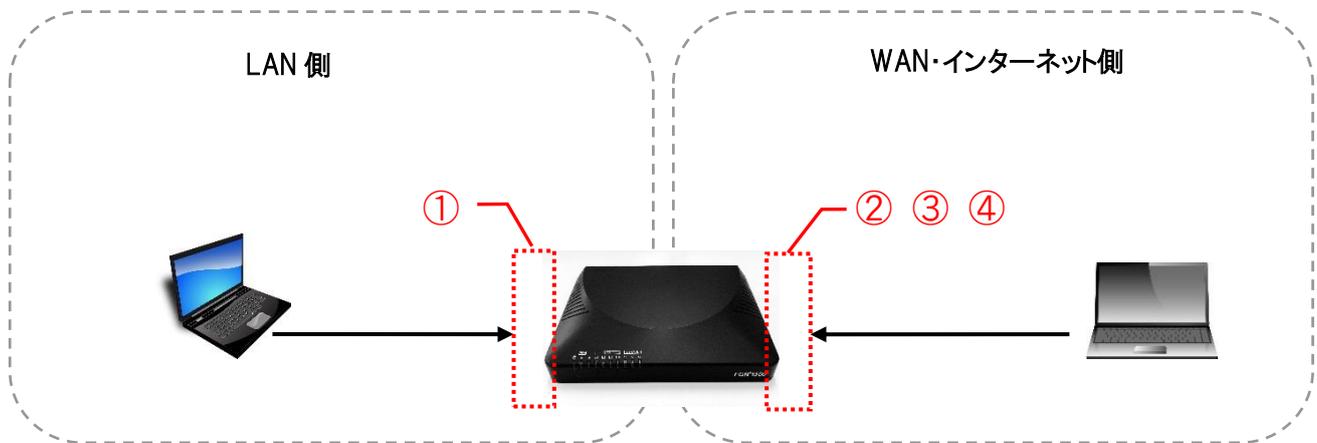
※1:本フィルタリングは、HTTP サイトのみに対応しており、HTTPS サイトには対応していません。

※2:設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※3:ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

4.5.3 ルーター宛フィルタリング設定

本機(ルーター)宛の packets に対する受信パケットフィルタリングの設定を行います。
対象の受信インタフェースは下記①～④になります。



■ 対象受信インタフェース

LAN 側	WAN・インターネット側
① LAN (グループ 0~3)	② PPPoE ③ WAN (DHCP クライアント・IP 固定) ④ v6 コネクト

注意事項

フィルタリングリストに登録されていないパケットは、LAN 側から本機宛への通信は許可となります。
インターネット側(WAN を含む)から本機宛への通信は全て破棄となります。

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ルーター宛フィルタリング設定」を選択します。

ルーター宛フィルタリング設定

本機（ルーター）宛のパケットに対するフィルタリング設定を行います。

- 「送信元IPアドレス」はマスク指定が可能です。（例. xxx.xxx.xxx.xxx/29）
- 「送信先ポート番号」は範囲指定が可能です。
範囲指定する場合は「:」（コロン）で指定して下さい。（例. 1024-1025）

処理: 破棄
 プロトコル: TCP+UDP
 受信（入力）インタフェース: LAN:グループ0 (LAN側:グループ0→本機)
 送信元IPアドレス:
 送信先ポート範囲:
 コメント: (半角英数字記号26文字以内)

キャンセル リストへ登録・設定保存 リストへ登録・適用

ルーター宛フィルタリング登録リスト (100エントリーまで登録可能)

処理	プロトコル	受信（入力） インタフェース	送信元IP アドレス	送信先 ポート範囲	コメント	操作
破棄	TCP	LAN:グループ0	192.168.150.30	80	Drop 30 to GUI	↑ ↓ 削除
破棄	TCP	LAN:グループ0	192.168.150.31	80	Drop 31 to GUI	↑ ↓ 削除
破棄	TCP	WAN	203.0.113.1	80	Drop WAN to GUI	↑ ↓ 削除

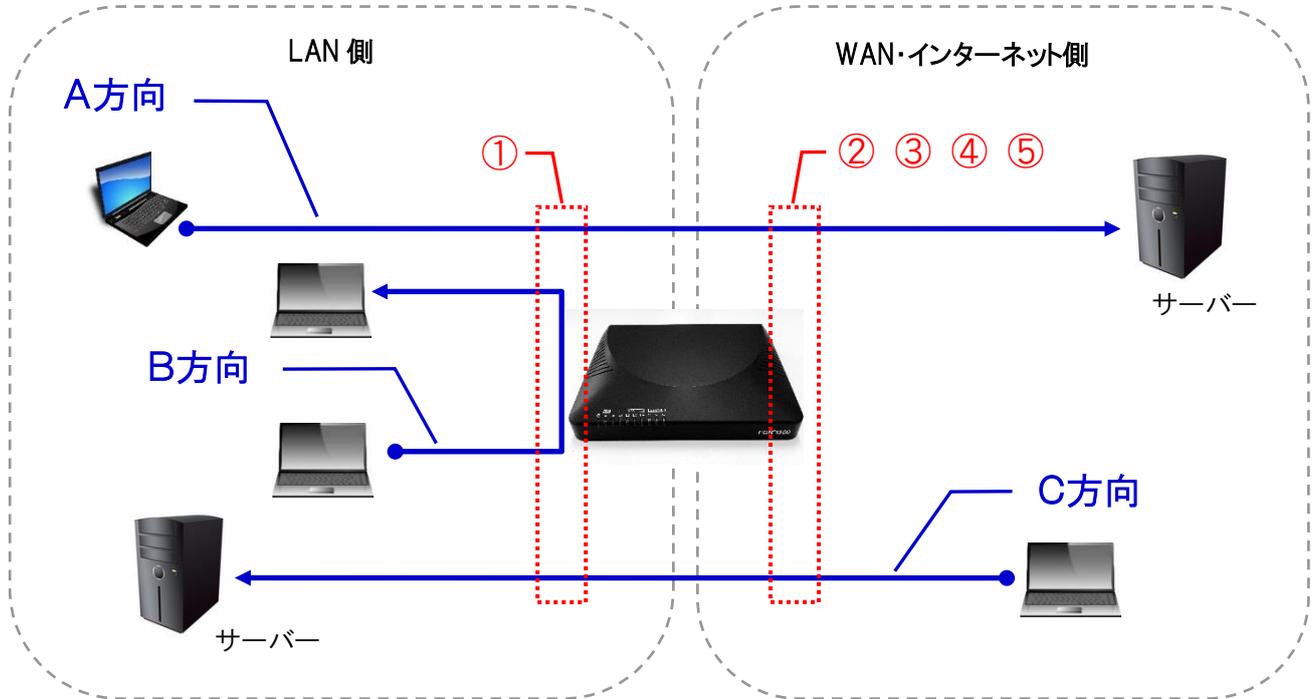
全て削除

項目	内容
処理	「破棄」か「許可」を選択します。
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」「ICMP」「GRE」「ESP」「AH」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「LAN:グループ0～3」「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」から選択します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを設定します。 ※1
送信先ポート範囲	送信先ポート番号を設定します。 ※2
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力した値をクリア(空欄)にします。
[リストへ登録・設定保存]ボタン	リストへ登録し、設定を保存します。 ※3
[リストへ登録・適用]ボタン	リストへ登録し、設定を適用します。 ※4
ルーター宛フィルタリング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
[削除]ボタン	対象エントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

- ※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。（例. 192.168.150.0/24）
- ※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。（例. 20:21）
- ※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。
- ※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

4.5.4 ルーター通過フィルタリング設定

本機(ルーター)を通過するパケットに対するフィルタリングを行います。
 対象となる受信・送信インタフェースは下記①～④になります。
 また、インタフェースに対するパケット通過の方向例を A～C で示します。



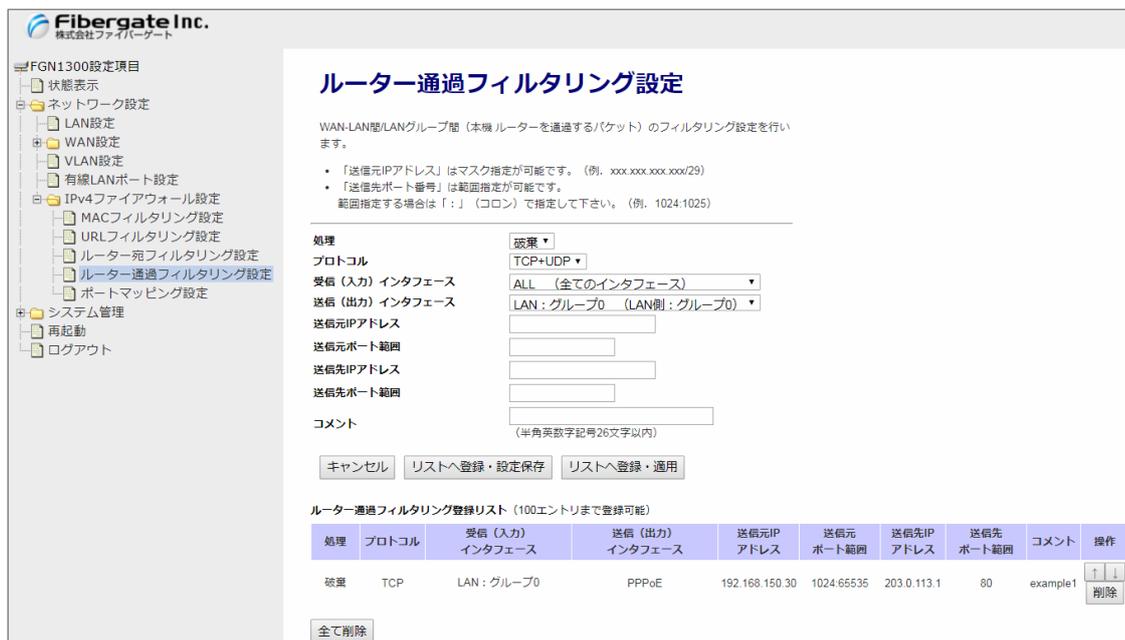
■ 対象受信・送信インタフェース

LAN 側	WAN・インターネット側
① LAN (グループ 0～3)	② PPPoE ③ WAN (DHCP クライアント・IP 固定) ④ v6 コネクト ⑤ ALL (全てのインタフェースが対象)

■ 対象パケット通信方向

パケットの方向	受信(入力)インタフェース	送信(出力)インタフェース
A方向	LAN (グループ 0～3)	PPPoE・WAN・v6 コネクト・ALL
B方向	LAN (グループ 0～3)	LAN (グループ 0～3)
C方向	PPPoE・WAN・v6 コネクト・ALL	LAN (グループ 0～3)

左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ルーター通過フィルタリング設定」を選択します。



項目	内容
処理	「破棄」か「許可」を選択します。
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」「ICMP」「GRE」「ESP」「AH」から選択します。
受信(入力)インタフェース	「ALL(すべてのインタフェース)」「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」から選択します。
送信(出力)インタフェース	「ALL(すべてのインタフェース)」「LAN:グループ 0~3」「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」から選択します。
送信元 IP アドレス	送信元 IP アドレスを設定します。※1
送信元ポート範囲	送信元ポート番号を設定します。※2
送信先 IP アドレス	送信先 IP アドレスを設定します。※1
送信先ポート範囲	送信先ポート番号を設定します。※2
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。(任意)
[キャンセル]ボタン	入力した値をクリア(空欄)にします。
[リストへ登録・設定保存]ボタン	リストへ登録し、設定を保存します。※3
[リストへ登録・適用]ボタン	リストへ登録し、設定を適用します。※4
ルーター通過フィルタリング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
[削除]ボタン	対象エントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。(例. 192.168.150.0/24)

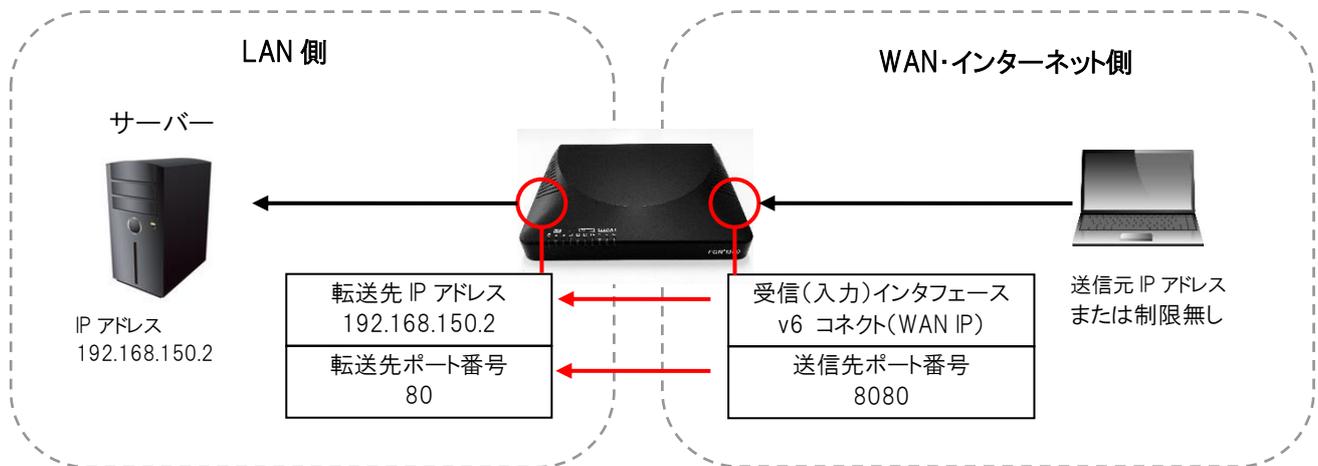
※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。(例. 20:21)

※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

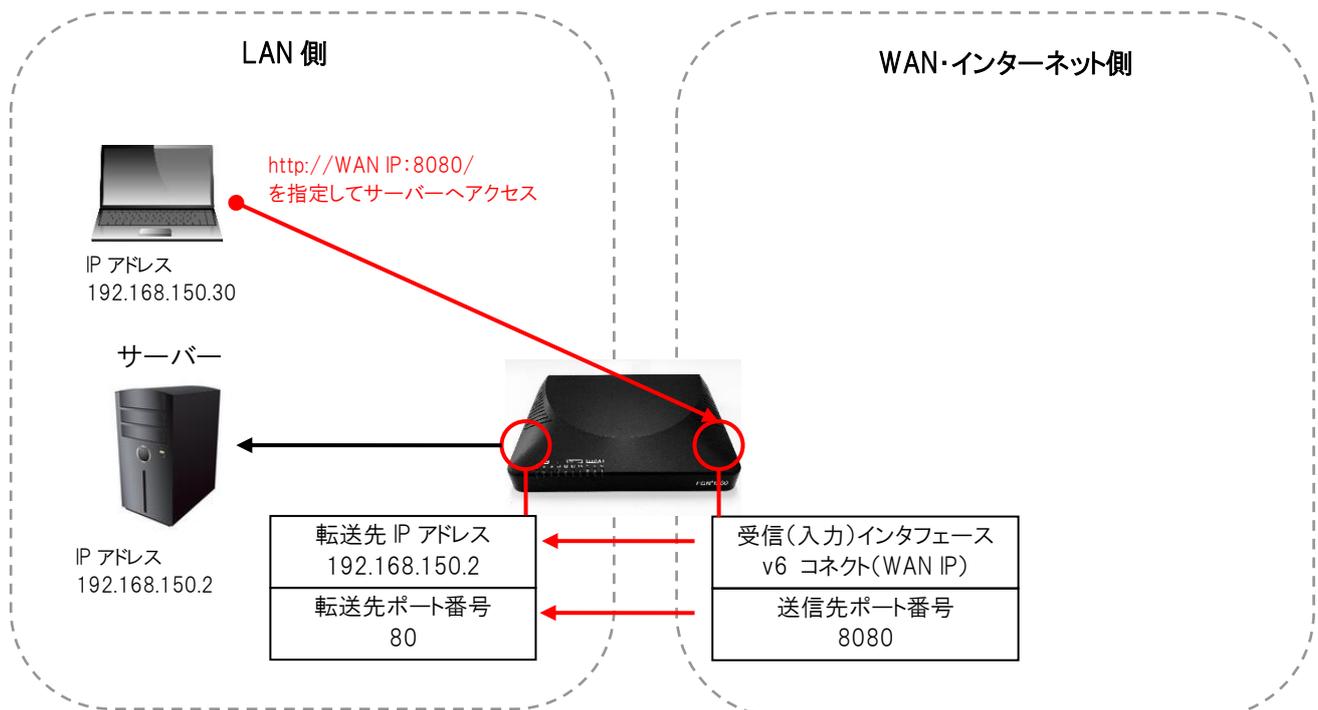
4.5.5 ポートマッピング設定

「ポートマッピング設定」では、WAN(インターネット)側から本機の WAN 側 IP アドレス・ポート宛の接続要求を、LAN 側 IP アドレス・ポートへ転送するための設定を行います。



ヘアピンNATについて

ヘアピンNATを有効にした場合、LAN側の端末は、同一ネットワーク内に存在するポートマッピング先の機器に対して、本機が取得しているWAN側のIPと設定した送信先ポート番号を指定することでアクセスすることができます。



左のメニューリストから「ネットワーク設定」→「IPv4 ファイアウォール設定」→「ポートマッピング設定」を選択します。

ポートマッピング設定

WAN（インターネット）側から本機のWAN側IPアドレス・ポート宛の接続要求を、LAN側IPアドレス・ポートへ転送するための設定を行います。

- 「送信元IPアドレス」を空欄にした場合、全てのIPアドレスが対象となります。
- 「送信元IPアドレス」はマスク指定が可能です。（例、xxx.xxx.xxx/29）
- 「送信先ポート番号」は範囲指定が可能です。

範囲指定する場合は「:」（コロン）で指定して下さい。（例、1024:1025）

プロトコル: TCP+UDP
 受信（入力）インタフェース: PPPoE
 送信元IPアドレス:
 送信先ポート番号:
 転送先IPアドレス:
 転送（変換）先ポート番号: (範囲指定不可)
 コメント: (半角英数字記号26文字以内)
 ヘアピンNATを有効にする

[キャンセル] [リストへ登録・設定保存] [リストへ登録・適用]

ポートマッピング登録リスト: (200エントリーまで登録可能)

プロトコル	受信（入力）インタフェース	送信元IPアドレス	送信先ポート番号	転送先IPアドレス	転送（変換）先ポート番号	コメント	ヘアピンNAT状態	操作
TCP	v6 コネクト	0.0.0.0/0	8080	192.168.150.2	80	example1	無効	[↑][↓] 削除

[全て削除]

項目	内容
プロトコル	「TCP+UDP」「TCP」「UDP」から選択します。
受信（入力）インタフェース	「PPPoE」「WAN」「v6 コネクト」「ALL」から選択します。
送信元 IP アドレス	WAN側からアクセスする送信元 IP アドレスを設定します。※1
送信先ポート番号	WAN側からアクセスする際のポート番号を設定します。※2
転送先IPアドレス	転送先のLAN側IPアドレスを設定します。
転送（変換）先ポート番号	転送先の接続ポート番号を設定します。
コメント	登録するエントリーに関する情報を設定します。（任意）
ヘアピンNATを有効にする	ヘアピンNAT機能を有効にする場合にチェックを入れます。
[キャンセル]ボタン	入力した値をクリア（空欄）にします。
[リストへ登録・設定保存]ボタン	リストへ登録し、設定を保存します。※3
[リストへ登録・適用]ボタン	リストへ登録し、設定を適用します。※4
ポートマッピング登録リスト	
操作 [↓][↑]ボタン	矢印の方向にエントリー順序を移動します。
[削除]ボタン	対象エントリーを削除します。
[全て削除]ボタン	全てのエントリーを削除します。

※1: マスク値と組み合わせることにより、範囲指定が可能です。（例、192.168.150.0/24）

※2: 範囲設定する場合「:」で区切ります。（例、20:21）

※3: 設定内容を動作へ反映するためには、本機の再起動を行う必要があります。

※4: ボタンをクリックした直後より、動作反映のための再起動が実施されます。

5 システム管理

本機の各種システム管理の設定を行います。

5.1 パケット送受信量 統計

各有線ポートのパケット送受信量を表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「パケット送受信量 統計」を選択します。



The screenshot shows the 'Fibergate Inc.' web interface. On the left is a navigation menu with 'システム管理' (System Management) expanded to 'パケット送受信量 統計' (Packet Send/Receive Statistics). The main content area is titled 'パケット送受信量 統計' and includes a sub-header 'パケットの送受信量を表示します。' (Display packet send/receive volume). Below this is a table with 20 rows, grouped by port type (有線LAN1-4 and 有線WAN). Each row contains two columns: a label (e.g., '受信パケット') and a numerical value.

有線LAN1	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	60
送信バイト:	5600
有線LAN2	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	60
送信バイト:	5600
有線LAN3	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	60
送信バイト:	5600
有線LAN4	
受信パケット:	0
受信バイト:	0
送信パケット:	60
送信バイト:	5600
有線WAN	
受信パケット:	8018
受信バイト:	929662
送信パケット:	7549
送信バイト:	1125770

再読み込み

項目	内容
[再読み込み]ボタン	統計情報を更新します。

5.2 システムモニタ

本機のシステム情報を監視します。

左のメニューリストから「システム管理」→「システムモニタ」を選択します。

項目	内容
システム監視を有効にする	システム監視を有効にする場合にチェックを入れて下さい。
[設定変更]ボタン	システム監視を適用します。適用時の再起動は不要です。
[再読み込み]ボタン	監視情報を更新します。

5.3 時刻情報設定

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「時刻情報設定」を選択します。

The screenshot shows the '時刻情報設定' (Time Information Setting) page. The sidebar menu on the left includes '時刻情報設定' which is highlighted. The main content area has the following elements:

- Header: 時刻情報設定
- Text: 本機の時刻情報の設定を行います。
- Current Time: 2019年09月05日 19時10分32秒. Below it is a button: 本画面を開いている端末の時間をコピー
- Time Zone: (GMT+09:00) Japan, Korea (dropdown menu)
- Enable NTP Client: NTPクライアントを有効にする
- NTP Server: ntp1.jst.mfeed.ad.jp (dropdown menu)
- Buttons: 設定保存, 適用

項目	内容
現在の時刻	本機が保持している時刻情報を表示します。
タイムゾーン	工場出荷値で(GMT+09:00)Japan,Korea が選択されています。 (通常、変更する必要はありません。)
NTPクライアントを有効にする	NTP のクライアントを有効にする場合にチェックを入れて下さい。
NTP サーバー	参照するNTP サーバーを選択するか、NTP サーバーのアドレスを選択します。

5.4 DoS 検知・防御設定

本機の時刻情報の設定を行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「Dos 検知・防御設定」を選択します。



Fibergate Inc.
株式会社ファイバークート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - DoS検知・防御設定**
 - ネットワークセキュリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー・パスワード設定
- 再起動
- ログアウト

DoS検知・防御設定

WAN側からのDoS (denial-of-service) 攻撃の検知・防御の設定を行います。

Port Scan 検知・防御設定

SYN Flood 検知・防御設定

項目	内容
Port Scan 検知・防御設定	Port Scan を検知・防御設定の動作(無効/有効)を選択します。
SYN Flood 検知・防御設定	SYN Flood を検知・防御設定の動作(無効/有効)を選択します。

5.5 ネットワークユーティリティ

本機からの ping や arp 等のコマンドを実行します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ネットワークユーティリティ」を選択します。



Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - DoS検知・防御設定
 - ネットワークユーティリティ**
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー・パスワード設定
- 再起動
- ログアウト

ネットワークユーティリティ実行

各種ネットワークユーティリティコマンドを実行できます。
コマンドによっては結果表示までに時間がかかるものがあるのでご注意ください。

ping	: ping -c 3 127.0.0.1	実行
arpping	: arpping -c 3 127.0.0.1 -I br0	実行
arp	: arp -a	実行
route	: route	実行
nslookup	: nslookup localhost	実行
iperf3 client	: iperf3 -c 127.0.0.1	実行

各コマンド欄に実行するコマンドを入力した後、〔実行〕ボタンをクリックします。

注意事項

arp コマンドおよび route コマンドは、コマンド内容を指定できません。

コマンドによっては応答に時間がかかる場合があります。応答があるまで他の WebGUI の操作はできません。

5.6 システムログ

本機のシステムログを表示します。

左のメニューリストから「システム管理」→「システムログ」を選択します。



Fibergate Inc.
株式会社ファイバークエート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - DoS検知・防御設定
 - ネットワークユーティリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー・パスワード設定
- 再起動
- ログアウト

システムログ

システムのログ情報を表示します。

再読み込み 消去

```
Jan 2 01:43:17 FGN1300 syslog.info syslogd started: BusyBox v1.12.1
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.notice kernel: klogd started: BusyBox v1.12.1 (2019
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.notice kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper] Linux v
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper] CPU: ARMv
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper] CPU: PIPT
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper] Machine:
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.alert kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.alert kernel: [ 0.000000] SDK 5.0.S.0
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000] <bayi> Parse tag flash
Jan 2 01:43:17 FGN1300 kern.warn kernel: [ 0.000000]- (0) [0:swapper]
```

項目	内容
〔再読み込み〕ボタン	システムログを更新します。
〔消去〕ボタン	表示されているシステムログを消去します。

5.7 ファームウェアバージョンアップ

本機のファームウェアバージョンアップを行います。

左のメニューリストから「システム管理」→「ファームウェアバージョンアップ」を選択します。

項目	内容
現在のバージョン	動作中のファームウェアバージョンを表示します。
ファイル選択	[ファイルを選択] ボタンをクリックすると、ファイルが選択できます。
[手動バージョンアップ開始] ボタン	選択したファームウェアを本機へ反映します。※1

※1: ボタンをクリックした直後より、反映作業と再起動が実施されます。

バージョンアップ中、再起動中に本機の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないで下さい。

【手順】

① [ファイルを選択] ボタンをクリック

② 対象ファイルをクリック

③ [開く] ボタンをクリック

④ [手動バージョンアップ開始] ボタンをクリック

バージョンアップ開始

再起動開始

本機の再起動を行います。

本機の電源を切らずに、そのままお待ち下さい。

5.8 設定保存・読み込み・初期化

本機の設定をファイルに保存する、ファイルから設定を読み込む、設定を工場出荷値に戻すことができます。左のメニューリストから「システム管理」→「設定保存・読み込み・初期化」を選択します。



項目	内容
設定をファイルに保存	[保存]ボタンをクリックすると、本機に設定されている情報を設定ファイルとして保存、取得することができます。
設定をファイルから読み込む	[ファイルを選択]ボタンをクリックすると、任意の場所に保管している設定ファイルを本機上にセットすることができます。 設定ファイルをセットした後に、[読み込み]ボタンをクリックすると、設定ファイルの内容を反映することができます。※1
設定を工場出荷値に戻す	[実行]ボタンをクリックすると、本機の設定が全て工場出荷値に戻ります。 ※2

※1:[読み込み]ボタンをクリックした直後より、反映作業と再起動が実施されます。

※2:[実行]ボタンをクリックした直後より、初期化作業と再起動が実施されます。

5.9 ユーザー・パスワード設定

本機の WebGUI へログインする際のユーザー名とパスワードを設定します。

左のメニューリストから「システム管理」→「ユーザー・パスワード設定」を選択します。

Fibergate Inc.
株式会社ファイバゲート

FGN1300設定項目

- 状態表示
- ネットワーク設定
- システム管理
 - パケット送受信量 統計
 - システムモニタ
 - 時刻情報設定
 - DoS検知・防御設定
 - ネットワークユーティリティ
 - システムログ
 - ファームウェアバージョンアップ
 - 設定保存・読み込み・初期化
 - ユーザー・パスワード設定**
- 再起動
- ログアウト

ユーザー名・パスワード設定

本機の設定画面にアクセスするためのユーザー名・パスワードを設定します。
ユーザー名とパスワードを空欄に設定すると、ユーザー名・パスワードによる保護が無効となります。

新しいユーザー名

新しいパスワード

新しいパスワード(再入力)

※クリック直後より、設定内容が反映されます

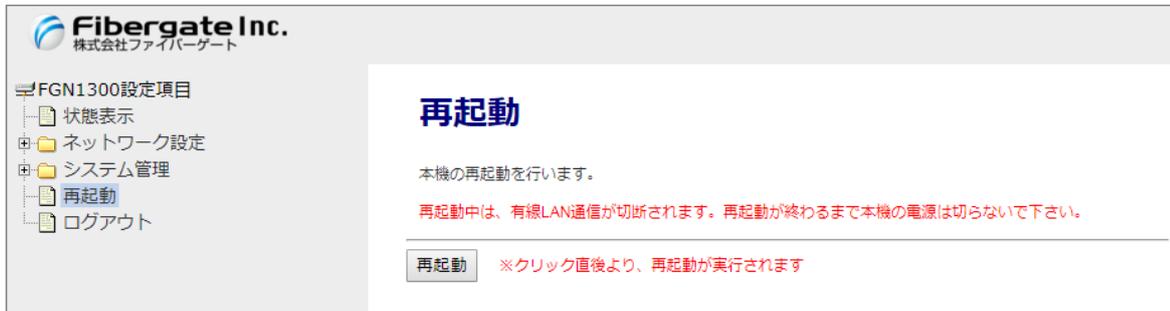
項目	内容
新しいユーザー名	新しいユーザー名を入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
新しいパスワード(再入力)	新しいパスワードで入力した同一内容を入力します。
[設定変更]ボタン	ボタンをクリックすると、即時変更内容が反映されます。

6 再起動とログアウト

本機の再起動とログアウトを行います。

- 再起動

左のメニューリストから「再起動」を選択します。



項目	内容
[再起動]ボタン	ボタンをクリックすると即時、本機の再起動が開始します。

- ログアウト

左のメニューリストから「ログアウト」を選択します。



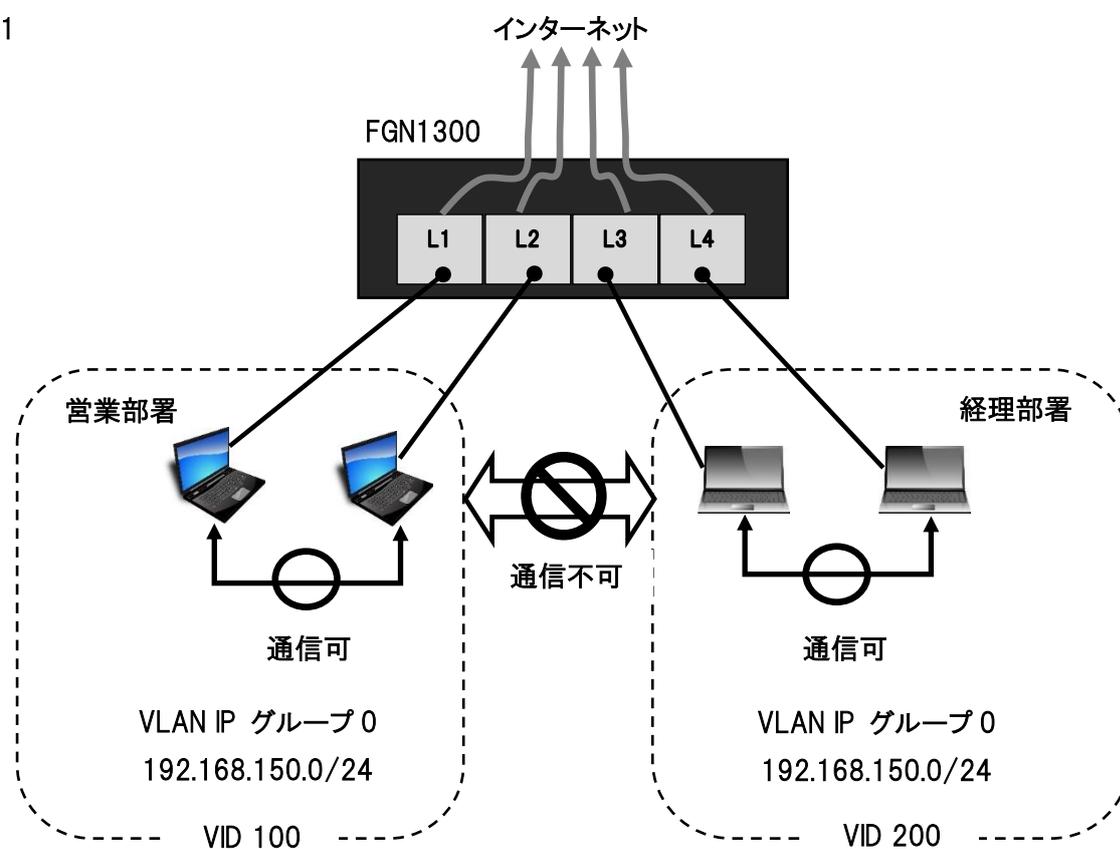
項目	内容
[ログアウト]ボタン	ボタンをクリックすると本機の WebGUI からログアウトします。

7 付録

7.1 設定例 - VLAN 設定(同一ネットワーク帯のケース)

- ユースケース・利用条件
 - 営業部署と経理部署との間の通信を遮断すること
 - 各部署内の通信は許可すること
 - 両部署ともネットワーク帯は 192.168.150.0/24 とすること
 - 両部署の IP アドレスは FGN1300 の DHCP サーバーより配布すること
 - 両部署ともにインターネットへ通信ができること
 - 接続ポートは営業部署が LAN1 と 2 を使用し、経理部署が LAN3 と 4 を使用すること

図 1



■ 設定値

対象部署	LAN ポート	VID	VLAN IP グループ	グループ IP アドレス
営業部署	LAN1	100	グループ 0	192.168.150.0/24
	LAN2			
経理部署	LAN3	200	グループ 0	192.168.150.0/24
	LAN4			

■ 設定内容

VLAN設定

VLANの設定を行います。

- 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を許可します。
- 異なるVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を遮断します。
- VLAN IP グループ0は、IPv4,IPv6通信の両方に対応します。
VLAN IP グループ1~3は、IPv4通信のみの対応となります。

① VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種別	Tag	Trunk	VLAN ID(2~4094)	VLAN IPグループ
LAN1	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100	グループ0 ▼
LAN2	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100	グループ0 ▼
LAN3	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	200	グループ0 ▼
LAN4	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	200	グループ0 ▼

VLAN IP設定

グループ	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
グループ0	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.150.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
グループ1	<input type="checkbox"/>	192.168.160.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ2	<input type="checkbox"/>	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ3	<input type="checkbox"/>	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

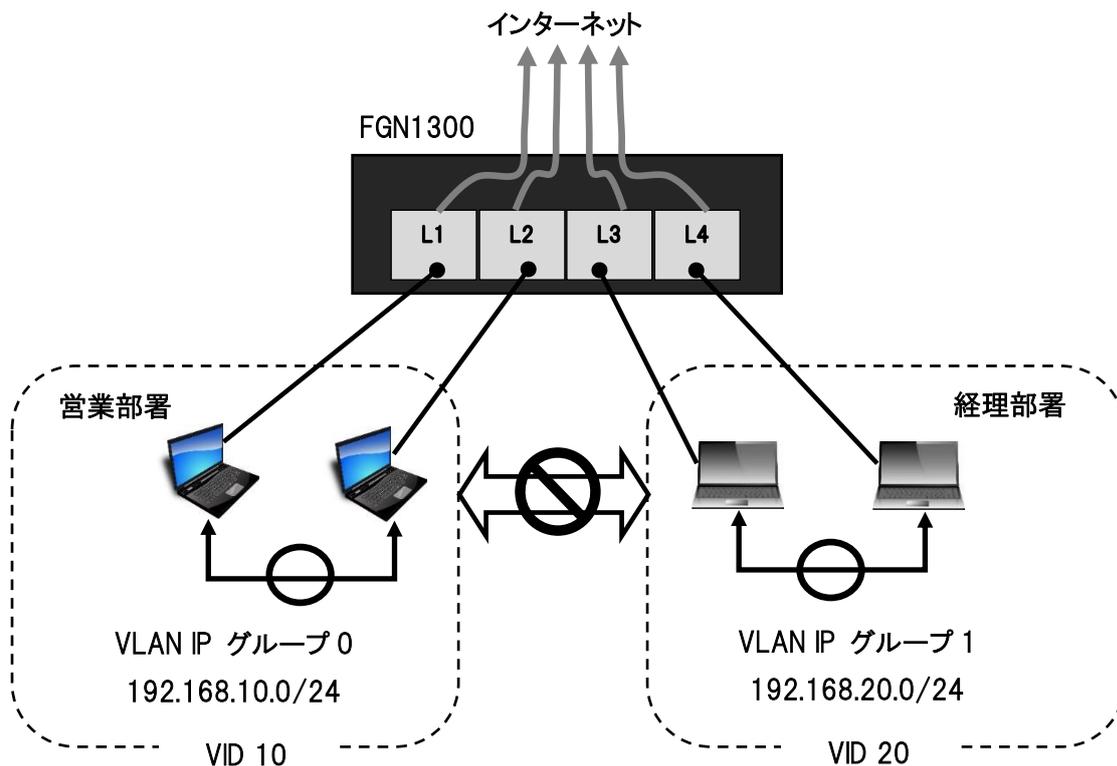
④

- ① VLAN を有効するにチェックを入れる
- ② LAN1・2 インタフェースの VLANID に 100 を入力し、グループ 0 を選択する
- ③ LAN3・4 インタフェースの VLANID に 200 を入力し、グループ 0 を選択する
- ④ [適用]ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映したら完了

7.2 設定例 - VLAN 設定(異なるネットワーク帯のケース)

- ユースケース・利用条件
 - ・ 営業部署と経理部署との間の通信を遮断すること
 - ・ 各部署内の通信は許可すること
 - ・ ネットワーク帯は営業部署が 192.168.10.0/24、経理部署が 192.168.20.0/24 とすること
 - ・ 両部署の IP アドレスは FGN1300 の DHCP サーバーより配布すること
 - ・ 両部署ともにインターネットへ通信ができること
 - ・ 接続ポートは営業部署が LAN1 と 2 を使用し、経理部署が LAN3 と 4 を使用すること

図 2



■ 設定値

対象部署	LAN ポート	VID	VLAN IP グループ	グループ IP アドレス
営業部署	LAN1	10	グループ 0	192.168.10.0/24
	LAN2			
経理部署	LAN3	20	グループ 1	192.168.20.0/24
	LAN4			

■ 設定内容

VLAN設定

VLANの設定を行います。

- 同一のVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を許可します。
- 異なるVLAN IDで設定されたLANポート間の通信を遮断します。
- VLAN IP グループ0は、IPv4、IPv6通信の両方に対応します。
VLAN IP グループ1~3は、IPv4通信のみの対応となります。

VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種別	Tag	Trunk	VLAN ID(2-4094)	VLAN IPグループ
LAN1	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
LAN2	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
LAN3	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	グループ0
LAN4	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	グループ0

VLAN IP設定

グループ	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
グループ0	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.150.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
グループ1	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.160.1	255.255.255.0	有効	IP設定
グループ2	<input type="checkbox"/>	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ3	<input type="checkbox"/>	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

キャンセル 設定保存 適用

LAN設定 ④-(1)

本機のLAN側IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。
本ページで設定が変更されました。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

IPアドレス: 192.168.10.1
サブネットマスク: 255.255.255.0

DHCPサーバー設定

DHCPサーバー: 有効
付与IPアドレス範囲: 先頭 192.168.10.30 終了 192.168.10.254 クライアント表示
固定IPアドレス付与設定

リース期限: 240 (15-10080分)
ホスト名: FGN1300

802.1d Spanning Tree: 無効

キャンセル 設定保存 閉じる

グループ1IP設定 ⑤-(1)

グループ1のIPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定を行います。
本ページで設定が変更されました。
変更内容を動作に反映させるためには、本機を再起動する必要があります。

グループ1IPアドレス: 192.168.20.1
グループ1サブネットマスク: 255.255.255.0

グループ1DHCPサーバー設定

DHCPサーバー: 有効
付与IPアドレス範囲: 先頭 192.168.20.30 終了 192.168.20.254 クライアント表示
固定IPアドレス付与設定

リース期限: 240 (15-10080分)
ドメイン名:

キャンセル 設定保存 閉じる

① VLAN を有効にするにチェックを入れる

② LAN1・2 インタフェースの VLANID に 10 を入力する

③ LAN3・4 インタフェースの VLANID に 20 を入力する

④ グループ 0 の [LAN 設定] ボタンをクリックする

④-(1) IP アドレス(192.168.10.1)、DHCP 付与 IP アドレス範囲(192.168.10.30-254)を設定し、[設定保存] ボタンをクリックする

⑤ グループ 1 の VLAN IP にチェックを入れ、[IP 設定] のボタンをクリックする

⑤-(1) IP アドレス(192.168.20.1)、DHCP 付与 IP アドレス範囲(192.168.20.30-254)を設定し、[設定保存] ボタンをクリックする

VLANを有効にする

VLAN ID・IPグループ 設定

インタフェース	種別	Tag	Trunk	VLAN ID(2-4094)	VLAN IPグループ
LAN1	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
LAN2	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10	グループ0
LAN3	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	グループ1
LAN4	有線LANポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	グループ1

VLAN IP設定

グループ	VLAN IP	IPアドレス	サブネットマスク	DHCPサーバー	詳細設定
グループ0	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.10.1	255.255.255.0	有効	LAN設定
グループ1	<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.20.1	255.255.255.0	有効	IP設定
グループ2	<input type="checkbox"/>	192.168.170.1	255.255.255.0	無効	IP設定
グループ3	<input type="checkbox"/>	192.168.180.1	255.255.255.0	無効	IP設定

キャンセル 設定保存 適用

⑥ LAN3と4のVLAN IP グループにグループ 1 を選択する

⑦ [適用] ボタンをクリックし、再起動後に設定が反映したら完了

※設定完了後は、設定 PC の IP アドレスを変更した IP アドレス帯に合わせる必要があります

7.3 工場出荷値一覧

項目	初期値
ログインユーザー名	admin
ログインパスワード	admin
LAN 設定	
IP アドレス	192.168.150.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP サーバー機能	有効
付与 IP アドレス範囲	先頭: 192.168.150.30 終了: 192.168.150.209
リース期限	240 分
WAN 設定	
IPv4 接続モード	DHCP クライアント
IPv6 接続モード	V6 コネクト
システム管理	
システムモニタ	無効
NTP クライアント	無効
DoS 検知・防御設定	無効

7.4 制限値一覧

項目	入力・登録制限値
ログインユーザー名	16 文字
ログインパスワード	32 文字
LAN 設定	
DHCP 固定 IP アドレス	20 件
ファイアウォール	
MAC フィルタリング	20 件
URL フィルタリング	20 件
ルーター宛フィルタリング	100 件
ルーター通過フィルタリング	100 件
ポートマッピング	200 件

7.5 製品仕様

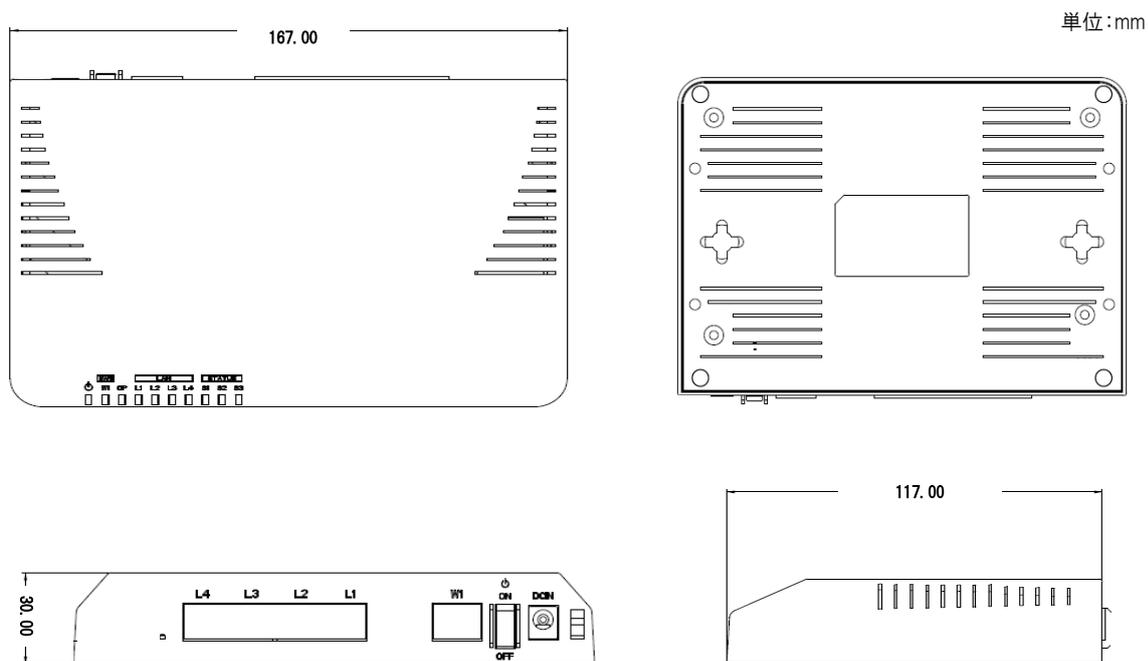
カテゴリ	項目	概要	備考	
ハードウェア	CPU	1.3GHz		
	RAM	512MB DDR3		
	ROM	128MB		
	ボタン	電源スイッチ		
		リセットボタン		
	LED	⏻ (電源)		緑色
		W1 (WAN)		緑色
		L1~L4 (LAN1~4)		緑色
		S1~S3 (STATUS1~3)		緑色
	イーサネット:LAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45 ×4		
	イーサネット:WAN	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45 ×1		
	電源	DC12V/2A(50/60Hz)		
		Power over Ethernet (IEEE802.3af/at 準拠)		
	外形寸法	約 167 (W) × 117 (H) ×30 (D) mm		突起部除く
	質量	約 250g		製品本体のみ
消費電力	最大: 約 5.0W			
動作環境	温度: -10~45°C、湿度 5~90%		結露なきこと	
保存環境	温度: -20~70°C、湿度 5~95%		結露なきこと	
有線 LAN	対応規格	IEEE802.3i (10BASE-T)		
		IEEE802.3u (100BASE-TX)		
		IEEE802.3ab (1000BASE-T)		
		IEEE802.3af (Power over Ethernet)		
	インタフェース	RJ-45 ポート × 5		
伝送速度	10/100/1000Mbps (オートネゴシエーション、オート MDI/MDI-X)			

カテゴリ	項目	概要	備考
ソフトウェア	WAN 回線	IPv4 IP アドレス固定 (手動設定)	
		IPv4 DHCP クライアント	
		IPv4 PPPoE クライアント	
		v6 コネクト (IPv4 over IPv6 接続) ※1	
	アドレス変換	NAPT (IP マスカレード)、ヘアピン NAT	
	IPv4 ファイアウォール	MAC フィルタリング	
		URL フィルタリング	
		パケットフィルタリング	
		ポートマッピング	
	IPv6 ファイアウォール	IPv6 SPI (Stateful Packet Inspection)	常に有効
	LAN 基本機能	IP アドレス固定付与設定	
		DHCP サーバー (有効/無効)	
	VLAN 機能	ポートベース VLAN、マルチプル VLAN、タグ VLAN (IEEE802.1Q)	
ログ機能	システムログ		
コンフィグ管理	保存/リストア		
設定 UI	WebGUI		
ラベル	底面パネル	型番、販売元、認証ロゴ (JATE、VCCI class-A) シリアル番号、LAN MAC アドレス (各バーコード)	

※1:以下の IPv6 通信を利用したサービスについては動作保証しておりません。

- ・IPv6 マルチキャスト通信を利用した通信サービス
- ・本製品の上位側からの IPv6 アドレスの払い出しが DHCPv6-PD を利用した通信サービス

7.6 筐体寸法



7.7 トラブルシューティング/Q&A 集

Q. 電源が入らない。(本機の電源スイッチを ON にしても電源 LED が点灯しない)

1. 電源アダプタと電源コードが正しく接続されているか確認してください。
2. 本機と電源プラグが正しく接続されているか確認してください。
3. PoE 給電を行っている場合、WAN ポートに LAN ケーブル(RJ45)が正しく接続されているか確認してください。

Q. 本機の WebGUI にアクセスできない。

1. 接続端末(PC 等)と本機の LAN ポートが、LAN ケーブル(RJ45)で正しく接続されているか確認してください。
2. 接続端末(PC 等)が接続する本機の LAN の LED が点灯しているか確認してください。
3. 接続端末(PC 等)の LAN 設定の IP アドレスが自動取得になっているか確認して下さい。
4. 接続端末(PC 等)の IP アドレスを固定設定にしている場合、ルーターの IP アドレスと重複していないか確認してください。

Q. 本機を介して、インターネットへ接続できない。

1. WAN の IP アドレスが正しく取得されているか確認してください。
2. 接続端末(PC 等)の LAN の IP アドレスが自動取得になっているか確認してください。
3. 接続端末(PC 等)がルーターから配布される IP アドレスを正しく取得しているか確認してください。
4. 接続端末(PC 等)のデフォルトゲートウェイ、DNS が正しく取得、設定されているか確認してください。
5. 接続端末(PC 等)の IP アドレスを固定設定にしている場合、ルーターのネットワーク帯と同じ値になっているか確認してください。

本書の内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

株式会社ファイバークエスト

【URL】 <https://www.fibergate.co.jp/>